

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6145 URL https://nittoku.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	29,461	4.8	3,096	7.3	3,119	3.0	2,224	△3.7
2022年3月期	28,121	27.6	2,885	112.8	3,030	124.6	2,308	85.0

(注) 包括利益 2023年3月期 2,829百万円(△15.3%) 2022年3月期 3,340百万円( 15.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	123.10	—	6.4	6.6	10.5
2022年3月期	127.78	—	7.1	6.8	10.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	47,675	36,024	74.9	1,976.89
2022年3月期	47,340	33,919	71.1	1,862.73

(参考) 自己資本 2023年3月期 35,715百万円 2022年3月期 33,653百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,246	△392	△848	12,023
2022年3月期	2,689	△714	△848	11,768

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00	722	31.3	2.2
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	542	24.4	1.6
2024年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00		26.1	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,600	△12.6	1,000	△24.6	1,000	△28.9	650	△30.1	35.98
通期	33,000	12.0	3,400	9.8	3,400	9.0	2,350	5.7	130.07

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 — 社（社名）— 、除外 — 社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	18,098,923株	2022年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2023年3月期	32,246株	2022年3月期	31,887株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	18,066,909株	2022年3月期	18,067,099株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	22,500	2.3	1,985	16.0	2,330	22.3	1,712	19.7
2022年3月期	21,984	26.2	1,711	301.2	1,905	262.7	1,431	122.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	94.80	—
2022年3月期	79.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	34,078		25,888		76.0	1,432.95		
2022年3月期	35,732		24,616		68.9	1,362.49		

(参考) 自己資本 2023年3月期 25,888百万円 2022年3月期 24,616百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	10,300	△12.7	700	△30.9	500	△31.0	27.68	
通期	24,000	6.7	2,200	△5.6	1,550	△9.5	85.79	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2023年6月2日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表及び主な注記	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19
5. その他	21
(1) 生産、受注及び販売の状況	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)における世界経済の情勢は、緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の上昇やグローバルサプライチェーンの混乱、生産制約や資源・部材の供給不足、また中国におけるゼロコロナ政策による経済活動抑制の影響、世界各国における金融引き締め政策への転換等に伴う世界的な景気の下振れリスクの高まりや、欧米における金融システム不安等が懸念される状況で推移いたしました。

一方、我が国の経済情勢は、世界的なインフレ圧力の上昇に伴う金融引締め等を背景とした海外景気の回復ペースの鈍化が国内景気を下押しするリスクとなっており、また、資源価格の高騰、円安の進行等による輸入コストの増加、物価上昇、新型コロナウイルス感染症による個人消費や企業の生産活動への影響、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、コロナ禍からの経済活動の復活がグローバルに進み、一部の製造業において生産システムの自動化・高度化・高品質化ニーズ等により設備投資が積極的に行われました。当社においては地産地消の考えのもと、リモート技術を活用した商談・仕様打合せ・完成確認・設置サポート体制を推進、海外拠点への営業・生産・サービス提供業務の移管等により生産効率を高め、ユーザーのニーズ・ウォンツを的確に捉えた「生産技術の代行」と、ユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進いたしました。

また近年は、SDGs対応やESG経営が求められるようになったことから、当社は省資源・省材料・省電力・省スペース・高生産性・高安全性等を実現する生産システムをユーザーに提供しており、地球環境や国際社会への貢献に努めております。

以上の結果、売上高は294億61百万円(前期比4.8%増)、営業利益は30億96百万円(前期比7.3%増)、経常利益は31億19百万円(前期比3.0%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は22億24百万円(前期比3.7%減)となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社は、長年にわたり探索、高度化してきたワインディング、テンション、ハンドリングといったメカ的な要素技術と独自開発の高機能多軸同期制御を可能にしたOSとを搬送システムによって統合、プラットフォーム化し、ユーザーが世界市場での競争を制するための生産システムを提供するビジネスモデルの構築を続けております。これは、ユーザーの生産技術を代行するものであるため、持続的成長を目指してユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにもスピーディーに、そして海外展開にも対応する必要があるため、オープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブルーレイク戦略」によって、既存領域の深化と周辺事業領域の探索を進めた結果、モビリティ業界向けを中心に受注・売上ともに拡大いたしました。

また、コロナ禍における種々の制約に対処するため、地産地消のコンセプトのもと、海外拠点を中心にリモート化を進めることにより、営業・生産・サービスの効率化や製造コストの削減などによる生産性及び競争力の向上を図りました。

これらの結果、全売上高の約91%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業においては、連結売上高は、267億52百万円(前期比1.1%増)、セグメント利益(営業利益)は、32億24百万円(前期比2.2%増)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は、237億85百万円(前期比20.9%増)、売上高は、197億91百万円(前期比2.7%減)、当期末の受注残高は、199億36百万円(前期比25.1%増)となりました。

#### (非接触ICタグ・カード事業)

当期における引き合いの中心は非接触ICカードや生産管理用FAタグであり、非接触ICカードの売上高は前期比41.2%増、生産管理用FAタグの売上高はFAラインにおける工程管理のニーズの高まりを受け、前期比295.3%増となりました。

これらの結果、連結売上高は、27億9百万円(前期比64.1%増)、セグメント利益(営業利益)は、7億67百万円(前期比38.9%増)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は、24億31百万円(前期比7.6%減)、売上高は、27億9百万円(前期比64.1%増)、当期末の受注残高は、9億71百万円(前期比22.2%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ①資産の分析

流動資産は前連結会計年度末対比1億74百万円減少し、321億2百万円となりました。これは主として、電子記録債権が5億19百万円、原材料及び貯蔵品が4億67百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億86百万円、仕掛品が4億13百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比5億9百万円増加し、155億73百万円となりました。これは主として、建物及び構築物(純額)が2億49百万円減少したものの、投資有価証券が5億53百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比3億35百万円増加し、476億75百万円となりました。

### ②負債の分析

流動負債は前連結会計年度末対比22億80百万円減少し、104億72百万円となりました。これは主として、前受金が21億64百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比5億10百万円増加し、11億78百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が4億16百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比17億69百万円減少し、116億50百万円となりました。

### ③純資産の分析

純資産合計は前連結会計年度末対比21億5百万円増加し、360億24百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末対比2億55百万円増加し、120億23百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億46百万円(前連結会計年度は26億89百万円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益が30億67百万円、減価償却費が8億62百万円あったものの、前受金の減少が22億43百万円、棚卸資産の増加が2億45百万円あったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億92百万円(前連結会計年度は7億14百万円の支出)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が26億33百万円あったものの、定期預金の預入による支出が24億70百万円、保険積立金の積立による支出が5億22百万円あったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8億48百万円(前連結会計年度は8億48百万円の支出)となりました。これは配当金の支払が7億22百万円あったことによるものです。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当社は引き続き「ブルーレイク戦略」を拡大してまいります。さまざまな業種のユーザーのプロセスの生産技術を代行するため、当社が築き上げた生産システムのプラットフォームに他社の特殊技術を取り入れることで、スピーディーに効率よく顧客の求める生産システムをグローバルに提供いたします。モータ・電子部品分野を中心に設備の高度化・高速化・高品質化を推進するとともに、精密技術・搬送技術等を応用し、電池・半導体分野をはじめとする新たな事業領域に向けた各種自動機・システム機への展開を推進いたします。

また、当社グループの在オーストリアのヨーロッパ法人の成長・拡大も著しく、中国のみならず、前期にマイクロファクトリーとして開設したベトナム法人等を含めた東南アジアも強化し、海外拠点のサービスサポート体制も充実させ、ブロック化にも対応してまいります。

当社は地球環境と国際社会の持続的な成長に貢献するトータル精密FAメーカーとして、SDGs、脱炭素、5Gといったデジタル化、グリーン化を目的とするメガトレンドから生じるビジネスチャンスを掴み、大型設備投資や先端の設備投資のニーズに応じてまいります。

今後も継続的な利益の創出を実現し、社会課題の解決を通じた持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めてまいります。

以上により次期の通期業績見通しといたしましては、売上高330億円（前期比12.0%増）、営業利益34億円（前期比9.8%増）、経常利益34億円（前期比9.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益23億50百万円（前期比5.7%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用して財務諸表を作成しております。IFRSの任意適用につきましては、将来の適用に備え、社内マニュアルや指針等の整備並びに適用時期について検討を進め、適切に対応いたします。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,729	13,842
受取手形及び売掛金	5,661	4,975
電子記録債権	1,236	1,756
仕掛品	9,167	8,753
原材料及び貯蔵品	1,483	1,950
その他	1,005	833
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	32,276	32,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,799	4,549
機械装置及び運搬具（純額）	976	869
土地	2,812	2,803
その他（純額）	685	742
有形固定資産合計	9,272	8,964
無形固定資産		
その他	120	114
無形固定資産合計	120	114
投資その他の資産		
投資有価証券	3,560	4,113
退職給付に係る資産	465	568
繰延税金資産	29	47
その他	1,614	1,764
投資その他の資産合計	5,669	6,494
固定資産合計	15,063	15,573
資産合計	47,340	47,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579	1,890
電子記録債務	2,839	2,623
未払法人税等	555	197
前受金	5,949	3,785
賞与引当金	519	630
その他	1,310	1,344
流動負債合計	12,752	10,472
固定負債		
退職給付に係る負債	12	19
繰延税金負債	286	702
その他	369	455
固定負債合計	668	1,178
負債合計	13,420	11,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,535	2,535
利益剰余金	21,054	22,555
自己株式	△27	△28
株主資本合計	30,447	31,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,298	1,575
為替換算調整勘定	1,556	1,873
退職給付に係る調整累計額	351	319
その他の包括利益累計額合計	3,206	3,767
非支配株主持分	265	309
純資産合計	33,919	36,024
負債純資産合計	47,340	47,675



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	28,121	29,461
売上原価	21,034	21,496
売上総利益	7,086	7,964
販売費及び一般管理費	4,200	4,867
営業利益	2,885	3,096
営業外収益		
受取利息	52	55
受取配当金	39	60
補助金収入	29	71
その他	164	86
営業外収益合計	286	273
営業外費用		
為替差損	80	28
固定資産除却損	26	157
その他	35	64
営業外費用合計	142	250
経常利益	3,030	3,119
特別損失		
投資有価証券評価損	—	52
特別損失合計	—	52
税金等調整前当期純利益	3,030	3,067
法人税、住民税及び事業税	675	503
法人税等調整額	39	306
法人税等合計	714	809
当期純利益	2,315	2,258
非支配株主に帰属する当期純利益	6	34
親会社株主に帰属する当期純利益	2,308	2,224

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	2,315	2,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	276
為替換算調整勘定	915	326
退職給付に係る調整額	△21	△31
その他の包括利益合計	1,024	570
包括利益	3,340	2,829
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,312	2,785
非支配株主に係る包括利益	27	43

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,884	2,535	19,892	△27	29,286
会計方針の変更による累積的影響額			△604		△604
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,884	2,535	19,288	△27	28,681
当期変動額					
剰余金の配当			△542		△542
親会社株主に帰属する当期純利益			2,308		2,308
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,766	△0	1,765
当期末残高	6,884	2,535	21,054	△27	30,447

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,167	661	372	2,201	238	31,726
会計方針の変更による累積的影響額						△604
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,167	661	372	2,201	238	31,121
当期変動額						
剰余金の配当						△542
親会社株主に帰属する当期純利益						2,308
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	130	894	△21	1,004	27	1,031
当期変動額合計	130	894	△21	1,004	27	2,797
当期末残高	1,298	1,556	351	3,206	265	33,919

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,884	2,535	21,054	△27	30,447
当期変動額					
剰余金の配当			△722		△722
親会社株主に帰属する当期純利益			2,224		2,224
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,501	△0	1,500
当期末残高	6,884	2,535	22,555	△28	31,948

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,298	1,556	351	3,206	265	33,919
当期変動額						
剰余金の配当						△722
親会社株主に帰属する当期純利益						2,224
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	276	316	△31	561	43	604
当期変動額合計	276	316	△31	561	43	2,105
当期末残高	1,575	1,873	319	3,767	309	36,024

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,030	3,067
減価償却費	1,032	862
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127	108
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	△46
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△136	△94
受取利息及び受取配当金	△92	△116
補助金収入	29	△71
有形固定資産売却損益 (△は益)	△50	△3
固定資産除却損	26	157
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	52
売上債権の増減額 (△は増加)	△651	264
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,390	△245
仕入債務の増減額 (△は減少)	△430	29
前受金の増減額 (△は減少)	△1,456	△2,243
その他	147	201
小計	2,976	1,924
利息及び配当金の受取額	92	115
利息の支払額	△10	△12
法人税等の支払額	△399	△851
補助金の受取額	29	71
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,689</b>	<b>1,246</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,767	△2,470
定期預金の払戻による収入	2,735	2,633
有形固定資産の取得による支出	△368	△227
有形固定資産の売却による収入	65	26
無形固定資産の取得による支出	△15	△23
投資有価証券の取得による支出	△213	△202
投資有価証券の売却による収入	184	12
保険積立金の積立による支出	△462	△522
保険積立金の払戻による収入	126	381
その他	0	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△714</b>	<b>△392</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△541	△722
その他	△305	△125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△848</b>	<b>△848</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	531	250
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,657	255
現金及び現金同等物の期首残高	10,110	11,768
現金及び現金同等物の期末残高	11,768	12,023

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分に関する意思決定を行い、かつ、業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」「非接触ICタグ・カード事業」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

ワインディングシステム&メカトロニクス事業セグメントは、巻線機、巻線システム及び周辺機器の製造、販売及び保守サービスを行っております。非接触ICタグ・カード事業セグメントは、ICタグ・カード及びインレットの製造並びに販売を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	26,470	1,651	28,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	26,470	1,651	28,121
セグメント利益	3,154	552	3,706
セグメント資産	32,181	1,606	33,787
その他の項目			
減価償却費	825	107	933
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	521	25	547

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	26,752	2,709	29,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	26,752	2,709	29,461
セグメント利益	3,224	767	3,991
セグメント資産	31,269	2,580	33,850
その他の項目			
減価償却費	678	91	770
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	490	85	575

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,706	3,991
全社費用(注)	△820	△894
連結財務諸表の営業利益	2,885	3,096

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,787	33,850
全社資産(注)	13,552	13,825
連結財務諸表の資産合計	47,340	47,675

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに投資有価証券であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	933	770	98	92	1,032	862
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	547	575	24	2	572	578

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備関連であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北中南米	ヨーロッパ	全体
9,993	7,715	4,906	1,786	3,719	28,121

(注1) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) なお、個別の製品輸出売上高は12,065百万円となっております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北中南米	ヨーロッパ	全体
11,801	6,260	5,973	1,255	4,170	29,461

(注1) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) なお、個別の製品輸出売上高は10,910百万円となっております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。



## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,862円73銭	1,976円89銭
1株当たり当期純利益	127円78銭	123円10銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	2,308百万円	2,224百万円
普通株主に帰属しない金額	－百万円	－百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	2,308百万円	2,224百万円
普通株式の期中平均株式数	18,067,099株	18,066,909株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,934	5,650
受取手形	148	76
売掛金	4,513	3,538
電子記録債権	1,215	1,614
仕掛品	7,615	6,507
原材料及び貯蔵品	764	1,005
未収消費税等	356	296
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	24	20
その他	523	189
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	21,090	18,894
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,984	3,780
構築物	143	122
機械及び装置	540	455
車両運搬具	10	7
工具、器具及び備品	177	151
土地	2,550	2,542
建設仮勘定	172	256
有形固定資産合計	7,579	7,315
無形固定資産		
ソフトウェア	62	53
その他	12	11
無形固定資産合計	74	65
投資その他の資産		
投資有価証券	3,221	3,772
関係会社株式	650	650
関係会社出資金	1,568	1,568
関係会社長期貸付金	18	50
保険積立金	1,416	1,552
その他	112	207
投資その他の資産合計	6,988	7,802
固定資産合計	14,642	15,183
資産合計	35,732	34,078

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	326	404
買掛金	996	1,117
電子記録債務	2,839	2,623
未払金	437	313
未払法人税等	453	25
前受金	4,838	2,188
賞与引当金	379	423
その他	500	375
流動負債合計	10,771	7,471
固定負債		
長期末払金	194	194
退職給付引当金	54	—
繰延税金負債	34	461
その他	61	62
固定負債合計	344	717
負債合計	11,116	8,189
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金		
資本準備金	2,542	2,542
資本剰余金合計	2,542	2,542
利益剰余金		
利益準備金	202	202
その他利益剰余金		
別途積立金	2,200	2,200
繰越利益剰余金	11,537	12,527
利益剰余金合計	13,940	14,930
自己株式	△27	△28
株主資本合計	23,340	24,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,275	1,558
評価・換算差額等合計	1,275	1,558
純資産合計	24,616	25,888
負債純資産合計	35,732	34,078

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	21,984	22,500
売上原価	17,001	17,165
売上総利益	4,982	5,335
販売費及び一般管理費	3,271	3,350
営業利益	1,711	1,985
営業外収益		
受取利息及び配当金	36	351
為替差益	53	72
その他	154	104
営業外収益合計	244	529
営業外費用		
固定資産除却損	26	142
その他	24	41
営業外費用合計	50	183
経常利益	1,905	2,330
特別損失		
投資有価証券評価損	—	52
特別損失合計	—	52
税引前当期純利益	1,905	2,278
法人税、住民税及び事業税	528	245
法人税等調整額	△54	320
法人税等合計	474	565
当期純利益	1,431	1,712

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	10,916	13,319
会計方針の変更による累積的影響額						△267	△267
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	10,648	13,051
当期変動額							
剰余金の配当						△542	△542
当期純利益						1,431	1,431
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	889	889
当期末残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	11,537	13,940

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△27	22,719	1,121	1,121	23,841
会計方針の変更による累積的影響額		△267			△267
会計方針の変更を反映した当期首残高	△27	22,452	1,121	1,121	23,573
当期変動額					
剰余金の配当		△542			△542
当期純利益		1,431			1,431
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			153	153	153
当期変動額合計	△0	888	153	153	1,042
当期末残高	△27	23,340	1,275	1,275	24,616

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	11,537	13,940
当期変動額							
剰余金の配当						△722	△722
当期純利益						1,712	1,712
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	990	990
当期末残高	6,884	2,542	2,542	202	2,200	12,527	14,930

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△27	23,340	1,275	1,275	24,616
当期変動額					
剰余金の配当		△722			△722
当期純利益		1,712			1,712
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）			283	283	283
当期変動額合計	△0	989	283	283	1,272
当期末残高	△28	24,329	1,558	1,558	25,888

## 5. その他

### (1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）の生産・販売品目は多種多様であり、同種の製品であっても、その容量、構造、形式等は必ずしも一様ではなく、セグメントごとに生産規模及び受注規模を金額あるいは数量で示すことが適当ではないと判断し、当社個別ベースの数字を示しております。

このため、生産及び受注の状況については、「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」における各セグメントの業績に関連づけて、当社個別ベースの数字で示しております。また、販売の状況については、「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」における各セグメントの業績に同じく関連づけて、従来どおり連結ベースの数字で示しております。